

『音楽教育研究ハンドブック』原稿公募のお知らせ

日本音楽教育学会設立 50 周年記念出版編集委員会
委員長 加藤富美子

日本音楽教育学会は 2019 年の学会設立 50 周年を記念し、『音楽教育研究ハンドブック』（音楽之友社・2019 年 8 月刊行・B5 判 250 頁予定）を刊行する運びとなりました。音楽教育実践と研究の一層の発展を願い、これまでの成果を踏まえつつ新しい切り口から音楽教育の「これから」を考えるためのハンドブック的な性格のものとし、学術性を保ちながら多くの人にとって読みやすいものであることをめざします。

この出版に向けて様々な立場から様々な実践研究をされているできるだけ多くの学会員の力を結集したいと考え、実践研究に関わる複数の項目の原稿を公募することにいたしました。みなさまのご応募をお待ちしております。

なお、ご応募いただいた内容は、応募（下記参照）締め切り後に編集委員会で検討したのち、最終的な原稿（1000 字～3000 字程度の範囲）におまとめ戴きます。応募多数の場合は編集委員会において選考させて戴きます。また、最終原稿の字数については、内容と全体の構成によって編集委員会が決定いたします。完成原稿提出締め切りは 2018 年 9 月 20 日を予定しています。

【企画の趣旨・構成】

音楽教育研究の根本問題とそれへの取り組みについて、「これから」を見据えながらわかりやすく語るものとします。「第 1 部 音楽教育研究の視座」「第 2 部 音楽教育研究の方法」「第 3 部 音楽教育研究のフィールドと実際」3 つの切り口から捉えます。「第 1 部」では関連、隣接諸分野の研究動向を背景にしてこれからの音楽教育研究の視座を示します。「第 2 部」では音楽教育研究の課題に向き合うための研究方法・研究手法を示します。「第 3 部」では、「第 1 部」「第 2 部」をふまえながら、音楽教育研究が対象とするフィールドごとに、それぞれに固有の現代的課題について実践と研究を統合した研究の展開を示していきます。基本的に各部とも、最新の研究動向をふまえた上で一定の考察と展望をおこないます。

「第 3 部」では、現代的課題に取り組む実践研究事例を公募します。

【応募について】

応募資格：応募時点で日本音楽教育学会正会員または特別会員であること

応募締切：2018 年 5 月 31 日

応募方法：下記 URL にアクセスして、必要事項と要旨（800 字以内）を記して送信してください。

<https://goo.gl/forms/oxQ59aZNzLK5jtHv2>

選考結果：選考結果は 6 月 20 日までにご本人にメールで連絡します

*応募情報は本委員会以外には一切非公開とし、情報の保護・管理に留意いたします。

全体の目次*と公募項目については「別紙」をご覧ください。

各章では、以下のような趣旨で原稿を募集いたします。

*2018年2月時点での予定です。項目タイトルや順序等は変更になる場合もあります。

- ◆第1章では、「保育における音楽的な表現の見とり」「『声』の表現者として育つこと」「モノや楽器を介した子どもと音・音楽との関わり」「生活に芽生える表現と発表会との間をどう考えるか、どう繋ぐか」といったテーマで、乳幼児保育・教育の現場における実践の工夫や試行と検証の記録、子どもの姿の観察記録や学びの記録、実践者自身による記録と省察、カンファレンス記録などを公募します。概要の中には「対象とする現場の概要（家庭なのか、保育園、幼稚園、こども園なのか、それ以外の乳幼児教育現場なのか等）と子どもの月（年）齢」などの情報をかならず含めてご応募ください。

- ◆第2章では、障害のある人と共に生きる・共に音楽を学ぶ実践レポートを公募します。知的障害あるいは発達障害のある子どもへの実践研究、肢体不自由あるいは聴覚障害あるいは視覚障害のある子どもへの実践研究事例をお寄せください。

- ◆第3章では、「生涯にわたる、社会とつながる音楽の学び」に関する実践研究事例を公募します。たとえば、アマチュアと文化的創造、公共ホールでの学び（アートプロジェクト、音楽祭など）、学校外のお稽古ごとと音楽教育、部活動と音楽教育、高齢者の音楽学習、といった内容が考えられます。こうした内容について、研究的視点から切り込んだ実践事例報告をお寄せください。

- ◆第4章では、今日の学校教育における課題を踏まえ、これからの時代に向けて発信していくことができるような実践研究事例を公募します。音楽の学びによる児童生徒の変容を含めつつ、研究的視点から切り込んだ実践研究事例をお寄せください。

- ◆第5章では、今日の教員養成・保育者養成における課題をふまえた実践研究事例を公募します。音楽科教育法、音楽実技、保育内容「表現」など、養成課程の音楽に関わる科目において、どのような取り組みをなさっているのでしょうか。教員養成課程では、とかく上から指摘される課題が注目される傾向にありますが、研究的視点を持ち、地に足のついた実践事例の報告をお待ちしています。

【編集委員会組織】

委員長	加藤富美子
副委員長	小川容子
常任編集委員	有本真紀・今川恭子・権藤敦子・齊藤忠彦・菅裕・本多佐保美
編集委員	石川眞佐江・伊野義博・尾見敦子・木村次宏・木村充子・工藤傑史 古山典子・佐橋晋・柴崎かがり・西島央・吉永早苗・萬司

本件に関するお問い合わせ先：日本音楽教育学会設立50周年記念出版編集委員会事務局
市川 恵・小井塚ななえ・伊原小百合（以上編集協力者）

Eメール：onkyoiku50@gmail.com